

平成 30 年 5 月 24 日
学校法人 大乘淑徳学園

平成 30 年度の資金運用方針、運用管理体制について

本学園の資金運用規程第 2 条に基づき、下記のとおり学園の運用方針を定めることといたします。

平成 29 年度の結果を踏まえ、基本的にはその方針を継承しながら①分散投資、②リスク・リターンの管理・運営体制の充実を一層図り、慎重かつ着実に進めてまいりたいと考えております。今後も、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

1 資金運用の目的

資金運用収入は、本学園の給付奨学金など、様々な基金事業による事業費に充当します。

2 資金運用の基本方針

- (1)老朽化校舎の建て替えが終了した現在、一部に長期の債券等も視野に入れた運用を行います。
- (2)有価証券運用限度額は、一定の流動性資金を確保した後の範囲内とします。
- (3)当面は、現預金と債券などを中心に着実な運用を行います。
- (4)当年度の運用目標は、0.2～0.3%程度とします。
- (5)リスク・リターンの管理体制の充実を図ります。

3 リスク管理について

有価証券ごとにリスク管理を徹底し、必要に応じてタイムリーな情報収集を行います。

4 平成 30 年度の資金運用方針、運用管理体制の骨子

- (1)平成 30 年度末の想定資金構成は次のとおりです。

資金区分	現預金	債券・その他	合計
資金配分	50%	50%	100%
乖離幅	—	±10%	

- (2)運用に関しては、本学園の中期計画に応じ運用期間の組替えを勘案します。
- (3)「資金運用委員会」「資金運用小委員会」による運用方針・実施・管理についてのチェック体制を充実します。

以 上